

## 子育ての「なんでだろう」 を考えましょう

話題提供者

北 條 栄 子氏 (上田市地域子育てサークル・ネット代表)

司会 犬 飼 己紀子 (本学幼児教育学科教授)

記録 兎 束 淑 美 (本学幼児教育学科教授)

### 1. はじめに

上田市には様々な子育てサークルが存在し、これまで独自に活動を行ってきました。しかしながら今春、それぞれのサークルをネットで結ぶ『地域子育てサークル・ネット』が、上田市児童保育課の呼びかけで立ち上がりました。

本分科会では「子育て支援てなあに？」に続き、子育ての「なんでだろう」をテーマとして、サークル「絵本読んでの会」を紹介すると共に、実際に子育てを経験されたお母様方のお話を伺いました。

### 2. 子育てサークルの現状について

＜サークルへの入会理由＞

育児と家事に追われる毎日の生活の中で、育児に対する悩み・ストレス等を感じていた頃、友人の紹介で入会しました。会の中で先輩のお母さん方と会話をする事により、色々なヒントをいただいたこと。また子育てに対する気負いが取れて気持が楽になったこと。そして子育てを経験していくことにより、自分に自信が持てるようになったことが大変よかったと思います。

＜上田市に於ける様々な子育て活動の実情＞

上田・神科・上下塩尻を中心に、各地域の公民館を利用して、月に2～4・5回の活動を行っています。会員数は10～40名です。活動内容は前例や季節行事に基づい

て、手遊び・絵本の読み聞かせ、簡単な工作・外遊び・運動などを組み合わせて行っています。対象児は、0才～3才（入園前）までの子どもで、活動時間は1～2時間です。会費は、月々0～3000円と幅があります。

<会場の皆さんの発言より>

サークル活動をされている2名の方（Aさん、Bさん）の話

Aさん…散歩時に立ち寄り活動に参加しました。会では母子共にきっちり遊ぶことが出来るので、お互いのストレスが発散出来ます。今後は、「子育てに悩み、引きこもり傾向のあるお母さんのお話を聞いてあげるような手伝い」が出来そうに感じています。

Bさん…「子育て応援団」ボランティアサークルを3年間行っています。活動場所はお年寄りの喫茶店で、子どもを育てている方・子どもを育て終えた方・子どものいない方がメンバーとなっています。クリスマス会やその時々出来ることを行うことによって、子どもを育てるお母さんを応援しています。運営は現在決まったメンバーで行っており、皆さんのアンケート等を基にして、講演会の企画等を上田市に持って行っています。

ー子育て中にグレーゾーンに入ってしまった3人（Cさん、Dさん、Eさん）の話ー

Cさん…子育て中に気持の余裕がなくなった。そこで、子どもの可愛い写真を沢山貼ったり、余裕のない自分の姿を鏡に映して客観視するよう心掛けた。鏡の中には、子どもをにくらしいと思うすごい顔をした自分がいた。

Dさん…Cさんと似たようなことが、私にもあったと思います。私を感じることは、お母さん自身が楽しめる何かを持つ事が大切だと思います。例えば20分の散歩・お花を育てる・スポーツを行う等です。新たな気持で笑顔を取り戻し、子どもと接することが大切だと思います。

Eさん…子育てを行っている時、仕事をしている友人と自分を比較して、「自分だけこんな事をしていてよいのだろうか」と悩んだ時期がありました。そんな時、他の違う仕事をしている人々に話を聞いてもらうことによって、ストレスの解消が可能となりました。

### 3.「絵本を読んでの会」の発表

U・C・Vで放映されたビデオを見ながら以下の発表が行われた。

- (1) 会が始まり今年で13年目 (2)毎週水曜日 10時15分～11時30分
- (3) 場所 城南公民館 (4) 対象年齢 0才～3才(入園前)までの子ども
- (5) 年間を通した会の運営は、役員が行っている。

#### <活動方法>

- (1) 最初に会員を大きく4班に分け、班ごとに役割分担(担当)を決めます。
- (2) 会の進行は毎月4班に分かれた班の担当者が交代で行います。
- (3) 担当者は毎回事前に次回の予定表を作成して会員に配布し、皆んなで次回の活動内容を確認します。

#### <活動内容>

(1) 音楽に合わせて“はとぼっぽ体操” (2) 朝の挨拶のうた (3) 絵本の読みきかせ (4) 手遊び (5) 当日の内容(季節に合わせた内容)会食もあり (6) 月毎の子どもさんのお誕生日会

(1)～(4)までは毎回必ず行っています。

会の始めに必ず絵本を読み、0～3才までの子どもたちが楽しめるように考えています。

#### <1年間の主な予定>

(春) 新しいお友達と班作り・上田公園お花見・おたんじょう日。かんむり作り

いちご狩り(東山観光農園)・坂城びんぐしの里へ

(夏) 長池公園で、しゃぼん玉、すいかわり・上田公園、三好町 ちびっこプール

七夕飾り作り(工作あり)・冷たいデザート作り・夏祭りの縁日ごっこ(工作)

(秋) りんご狩り(東山観光農園)・国分寺史跡公園落葉拾い・東部町芝公園

バザー(買い物)・簡単料理作り

(冬) クリスマス会に向けての準備[クリスマスツリー作り、クリスマス会の班ごとの出しものの練習、クリスマス、プレゼント入れ袋作り]、クリスマス会[一人一品お料理持寄り(おにぎり、パウンドケーキ、クッキー、フライドチキン、つけもの、ポテトサラダ、市販のものでもOK)]

ふくわらい作りと遊び・新聞紙の雪遊び・鬼のお面作りと豆まき・シチューやう

どん etc. あったかメニュー作り・3月 お別れ会（発表会、プレゼント、会食あり）

#### 4. サークル活動をして行く上での現状の問題点

活動の内容は3才までが対象年齢ですので会員の方も2～3年で入れ替わって行きます。運営上では常に募集体制を取っています。

- (1) 母親主体の活動の為、子どもの活動の違いをうめる企画がない

例…月齢数の違い、人数の大小もあり有資格者のアドバイスが欲しい。

- (2) 少子化による会員の減少により、年間の運営資金が大変で外遊びができない。

活動資金の補助が欲しい。

- (3) 会員の募集

上田市の公共施設にはパンフレットが置かれていますが、引きこもりがちなお母さんにサークルの存在のアピールが難しい。存続の為にも皆さんに興味を持ってもらいたい。

- (4) 未就園児が対象の為、期間は短い。入れ代わりの時期にスムーズに活動が続けて行かれるような環境作りやマニュアルが早急必要。担当の継続が大切ですが、担当を続けていくことは大変なことです。

- (5) 上田市のサークルネットの活用

色々なジャンルの派遣窓口を作って頂き、横のつながりを持って行きたい。

〔例〕 リトミック・工作・ふれあい遊び・手遊びなどの教育窓口

活動日の時間のうち30分位応援して頂けたら嬉しい。また役員を中心に教育して頂けたらと前向きな意見もあります。

上田市では、支援センターとして南部保育園と塩田中央保育園が紹介された。

#### 5. おわりに

今迄、公の場所で子育てサークルの活動をご紹介する機会がなかったので、頑張っているお母さん方の姿を少しでも知って頂ければ嬉しく思います。今後も一層よりよいサークル活動にしていく為には、問題点を改善してゆくことはもちろんですが、お

母さんのもうひと頑張りも大切です。長い様に思えますが、あっと言う間に過ぎてしまふこの時期を母子一緒に楽しみたいと思います。沢山の皆様の御意見を伺い、今後のサークル活動に生かして行ければと思います。

## 上田市内地域子育てサークル活動について

H 15 年度

| サークル名   | 活 動 内 容   | 活動の中での困難点や問題点  |
|---------|---|--|
| メダカの会   | 毎週火曜日 10 時～<br>リトミック (30 分位) 他いろいろ遊び  |  |
| にこにこ広場  | 月 2 回 10 時～11 時 30 分<br>手遊び・歌・リズム遊び・紙芝居・簡単なおもちゃ作り・絵本の読み聞かせ。たまに戸外で遊ぶ   | 子ども同士のけんかの時、どう他の子に声をかけてあげたらよいのか、困る。<br>親子のふれあい遊びなど保育士に教えて欲しい。  |
| ぞうさんクラブ | 月 2 回、第 2・4 木曜日<br>10 時～12 時<br>4 月～10 月までは戸外活動 (自由遊び)<br>11 月～3 月室内活動 工作、お絵かきなど役員で決める。クリスマス・お別れ会では一品手料理持ちよりパーティーをする。 | 年齢差があり、活動内容を決めても、一緒に遊べないことが多い。<br>児童センターを借りるにあたっての手続きを簡略にして欲しい。  |
| ピッコロクラブ | 毎週木曜日 10 時～11 時 30 分<br>毎回先生によるリズム遊び、簡単な工作、絵本の読み聞かせ、戸外遊び (月に一度公園へ) 季節にあったイベント (ひなまつり、クリスマス会)                          | 補助金がわずかでもあれば…ありがたい。  |
| たまごの会   | 毎週金曜日、月 4 回<br>10 時～11 時<br>リトミックの先生の指導で月 3 回体を使ったリトミックと、簡単な工作。月 1 回は自主活動。毎回絵本を読む。季節の行事 (遠足、運動会、クリスマス会など) もある。        | 先生への謝礼が高額なので、会員がある程度集まらないと運営が難しくなる。<br>会員集めが課題。各児童館には私的なチラシは置いてもらえないので、年 1 回しかチラシを配れない (市役所を通じて)<br>家に閉じこもりがちな母子をどうやって誘えるか、サークルの存在に気づいて興味をもってもらえるのか？ |

| サークル名     | 活 動 内 容  | 活動の中での困難点や問題点  |
|-----------|--|--|
| おたまじゃくしの会 | 毎週木曜日、月 4 回<br>10 時～11 時<br>手遊び、リトミック（先生 2 名）<br>など  |  |
| こんぺいとうの会  | 毎週火曜日、10 時 30 分～12 時<br>月 3 回リトミック、簡単な工作<br>や絵本の読み聞かせなどとりい<br>れながら。<br>夏は、プール。他に、公園に行<br>く（びんぐし公園・上田公園・<br>東部中央公園・市民の森）バー<br>ベキュー・クリスマス会…「子<br>育て応援団パレット」の方々と<br>合同で | 0 歳～4 歳の子供がいるので、<br>どの子も楽しめる内容を考える<br>ことが難しい。  |
| わらべうた遊びの会 | 毎週金曜日 3：00～4：00  |  |
| わんぱくクラブ   | 毎週木曜日、10 時～昼食持参<br>自由遊び  |  |
| いろいろクレヨン  | 月に 2 回。季節に合わせた行<br>事。7 月は七夕飾り作り、12 月<br>はクリスマス会、3 月はおひな<br>祭りなど。5・6・7 月は公園<br>遊びや、プール。秋は運動会<br>や、公園散策など野外活動もし<br>ている。  | 内容を役員で決めるため、なに<br>をしたらいいのか、年齢が 0～<br>3 歳までと幅があり、全てのこ<br>どもたちに楽しんでもらえるに<br>はどうしたらよいか悩む。                               |
| ひ よ こ 会   | 毎週水曜日、10 時～12 時<br>散歩、遠足、制作、プールなど、<br>2 班に分かれて、班長副班長を<br>中心に各月の活動内容などを考<br>えて活動する。各月の最後の活<br>動日には誕生会をする。   | 少子化のためか、会員が少なく<br>なり、毎月の活動資金は会費制<br>で活動しているが、地区の公民<br>館を借りているため、使用料が<br>かかる。使用料を捻出するのに<br>苦労している。                    |
| わたぼうしの会   | 毎週火曜日、10 時 30 分～11<br>時 30 分<br>毎月誕生会 戸外活動もある  |  |
| 絵本読んでの会   | 毎週水曜日、10 時 15 分～11 時<br>30 分<br>はとぼっぱ体操、手遊び、絵本、<br>工作、イチゴ狩り、リンゴ狩り、<br>プール、公園、落葉拾いなど  | 曜日に関係なく、遊べる場所<br>（室内）が欲しい。幼児食などの<br>講習会を開いて欲しいなど、専<br>門職の方の意見を聞きたい。多<br>くの公民館や児童センターにお<br>いて駐車スペースの狭い所あ<br>り、その点が不便。 |

| サークル名                    | 活 動 内 容  | 活動の中での困難点や問題点  |
|--------------------------|--|--|
| ポ ッ ポ ク ラ ブ              | 月2回、第2・4火曜日<br>10時30分～12時<br>毎回主催者によるパネルシアター。その後、制作、ゲーム、リズム遊びなど                              | 特に問題はなく活動している。                                       |
| か る が も の 会              | 月2回、金曜日<br>10時30分～昼食まで<br>冬以外は戸外の公園が中心。雨天、冬は児童センター。<br>各月2名で、会員が当番になり、その月の企画、運営。             | 児童センターの他に休日も利用できるところが欲しい。                            |
| リ ト ミ ッ ク<br>た ん ぼ ぼ の 会 | 第2～4金曜日 10時～12時<br>第2・4金は講師によるリトミック<br>第3金は、戸外遊び、クリスマス会など自主活動                                | 今年は会員があまり多くないので、運動していくための資金が問題。自主活動の時、年齢を問わず楽しめているか。 |
| 母 親 ク ラ ブ<br>め だ か の 会   | 毎週金曜日10時30分～13時30分（昼食持参、午前のみ参加も可能）<br>絵本、紙芝居、季節の行事、運動会、パネルシアター、戸外活動、料理持ちよりパーティー、クリスマス会、誕生会など | 特に問題はなく活動している。                                       |

（文責 兎束 淑美）